

広域振興局長

提出者 株式会社ミクニ 盛岡事業所
住所 〒020-0698 岩手滝沢市外山309
氏名 盛岡事業所長 野田 純孝

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策（変更）計画書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第82条第1項（第82条第2項）の規定により、次のとおり提出します。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	盛岡事業所	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県滝沢市外山309	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	2,485 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置			
その他の地球温暖化の対策に関する事項			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
滝沢工場	〒020-0698 岩手県滝沢市外山309	1,765 kℓ
大釜工場	〒020-0756 岩手県滝沢市大釜隆盛58-1	720 kℓ
-	-	- kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に、記載してください。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載してください。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させてください。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量		販売したエネルギーの量		E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)		
	数量 A	単位	数量 C	単位				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL			
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL			
揮発油(ガソリン)		kL			kL			
ナフサ		kL			kL			
ジェット燃料		kL			kL			
灯油	57.04	kL	2,082		kL	2,082	143	
軽油	0.93	kL	35		kL	35	2	
A重油	213.39	kL	8,301		kL	8,301	587	
B・C重油		kL			kL			
石油アスファルト		t			t			
石油コークス		t			t			
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	11.00	t	551	t	551	33	
	石油系液化水素ガス		千m ³		千m ³			
	液化天然ガス(LNG)		t		t			
可燃性天然ガス	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³			
石炭	輸入原料炭		t		t			
	原料炭		t		t			
		コークス用原料炭		t		t		
		炉用原料炭		t		t		
		一般炭		t		t		
		国産一般炭		t		t		
	輸入無煙炭		t		t			
石炭コークス		t			t			
コールタール		t			t			
コークス炉ガス		千m ³			千m ³			
高炉ガス		千m ³			千m ³			
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³			
転炉ガス		千m ³			千m ³			
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³			
	()							
	()							
黒液		t			t			
木材		t			t			
木質廃材		t			t			
バイオエタノール		kL			kL			
バイオディーゼル		kL			kL			
バイオガス		千m ³			千m ³			
その他バイオマス		t			t			
RDF		t			GJ/t			
RPF		t			GJ/t			
焼タイヤ		t			GJ/t			
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t			
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t			
廃油		kL			GJ/kL			
廃棄物ガス		千m ³			千m ³			
混合廃材		t			t			
水素		t			t			
アンモニア		t			t			
その他燃料		()			()			
小計①						10,969	758	
蒸気用蒸気		GJ			GJ			
産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
温水		GJ			GJ			
冷水		GJ			GJ			
地熱		GJ			GJ			
温泉熱		GJ			GJ			
太陽熱		GJ			GJ			
雪氷熱		GJ			GJ			
小計②								
電気事業者①	1,276.32	千kWh	11,027		千kWh	11,027	513	
電気事業者② ※複数契約している総合使用	8,603.93	千kWh	74,339		千kWh	74,339		
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh			
太陽光		千kWh			千kWh			
水力		千kWh			千kWh			
風力		千kWh			千kWh			
その他		千kWh			千kWh			
小計③						85,365	513	
合計 ④=①+②+③						96,335	1,279	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	2,485	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	1,279 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの非排出量	t-CO ₂	
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂	
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂	
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂	
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂	
三ふっ化窒素の排出量	t-CO ₂	
合計	1,279 t-CO ₂	

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 二酸化炭素の排出の抑制のための措置

(1) 二酸化炭素の排出を抑制するための取組 (計画)

<p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none">・2030年度目標 (2016年度比50%) 2024年度先行達成 <p>【具体的な取組】</p> <p>○省エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none">・エネルギー監視システムを活用した設備稼働最適化活動継続・省エネルギー性能の高い設備への順次切り替え継続 <p>○再生可能エネルギー(再エネ設備導入、再エネ由来電力の調達)</p> <ul style="list-style-type: none">・オンサイトPPAの導入済、増設検討・一般購入電力を100%再エネ電力へ切り替え済 <p>○自動車利用抑制</p> <ul style="list-style-type: none">・リモートワーク制度継続・web会議活用による移動頻度削減継続 <p>○輸送の合理化</p> <ul style="list-style-type: none">・モーダルシフト(鉄道輸送の活用)実施済、対象拡大検討
--

備考 主に次のことを記載してください。

- ・省エネルギー対策として、低暖房の適切な温度管理、製造工程における熱効率の向上、省エネ設備の導入等
- ・再生可能エネルギーの導入、再生可能エネルギー由来電力の調達
- ・自動車利用の抑制に係る取組
- ・定期的な荷受け・荷出しがある事業所は、輸送方法の合理化に係る取組

(2) 計画実現のための具体的な方法

<ul style="list-style-type: none">・経営層、関連部署が参画する月次会議による省エネ会議での活動項目抽出、進捗継続

(3) 計画の達成度の把握方法

<ul style="list-style-type: none">・CO2排出量実績を月次で監視、年次集計、目標達成度を確認

2 その他の地球温暖化の対策に関する事項

<p>-</p>

別紙 その3 (自動車用)
1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (2024年度)

燃料別	自動車		二酸化炭素の排出	
	保有台数	燃料使用量	排出係数 (B)	排出量
ガソリン	8 (1)	4,623 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	10,587 kg-CO ₂
軽油	3 (0)	4,692 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	12,290 kg-CO ₂
LPG	0 (0)	0 kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	0 kg-CO ₂
電気	0	0 kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	0 kg-CO ₂
その他	0 ()	0	kg-CO ₂ /()	0 kg-CO ₂
合計	11 (1)			22,878 kg-CO ₂

- 備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 二酸化炭素の排出の抑制のための措置

<p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車関係のみでの目標設定なし <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エコドライブ <ul style="list-style-type: none"> ・自社の交通安全規定にエコドライブ条項記載 ・駐車場内、アイドリングストップ等の看板掲示 ○輸送の合理化 <ul style="list-style-type: none"> - ○電動車 <ul style="list-style-type: none"> - ○自動車利用抑制 <ul style="list-style-type: none"> -
--

- 備考 主に次のことを記載してください。
- ・エコドライブの取組 (駐車時のエンジン停止、急発進や急加速の抑制等)
 - ・輸送方法の合理化に関する取組
 - ・電動車 (ハイブリッド自動車、電気自動車等) の導入
 - ・輸送業務以外での自動車利用の抑制に係る取組

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県 県有林J-クレジットを購入し、2024年度排出分10t-CO₂無効化
--